

取扱説明書

* 本

製品は研究用キットです。診断、治療目的には使用できません。

*下記 web 上に掲載しているプロトコールの最新版を確認の上、操作して下さい。

<https://www.cellspect.com/>

測定の意義

本キットは、新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) のスパイクタンパク (S1 ドメイン) を認識する、血清中ヒト IgM 抗体とヒト IgG 抗体を検出するための間接 ELISA キットです。

一般的には、IgM 抗体は感染初期に生成され、症状の緩和とともに消失するとされています。IgG 抗体は IgM 抗体に遅れて産生が始まり、数カ月にわたって血中に残存するとされています。これにより次に感染した際の症状が軽くなったり、発症を防いだりすることが知られています。スパイクタンパクに対する IgM 抗体、IgG 抗体は感染以外でも mRNA タイプのワクチンで接種でも産生されるため、ワクチン接種後の評価に有用です。

測定原理

- ① 固相化プレート上のリコンビナント SARS-CoV-2 スパイクタンパク (S1 ドメイン) と、これを認識する試料中の抗体 (以後、抗スパイクタンパク抗体と略称) を反応させる。
- ② 反応後、試料を洗浄操作により除去する。
- ③ 固相化プレート上の抗 S1 スパイクタンパク質抗体と、HRP (Horseradish peroxidase) 標識抗ヒト IgM / IgG 抗体を反応させる。
- ④ 余剰の HRP 標識抗ヒト IgM / IgG 抗体を洗浄操作により除去する。発色基質を加えて反応後に発色を止め、450nm の吸光度を測定する。

キット内容

合計 96 測定分 (商品コード: RCOEL961-S1)

1. SARS-CoV-2 S1 スパイクタンパク (S1 ドメイン) 固相化プレート	×2	
2. HRP 標識抗ヒト IgM 抗体*	20 µL×1	●
3. HRP 標識抗ヒト IgG 抗体*	20 µL×1	●
4. 洗浄液 (10× PBST)	100 mL×1	●
5. ウシ血清アルブミン (Diluent 用)	×1	●
6. Diluent 用バッファー (10×)	50 mL×1	○
7. R-1 : 発色基質 (TMB)	22 mL×1	遮光ボトル
8. R-2 : 反応停止液 (1 mol/L 塩酸)	22 mL×1	●

*開封前に必ずスピンドウンしてください

キット以外に必要な器具・試薬

- マイクロプレートリーダー
- マイクロピペットおよびチップ
- マルチチャンネルピペット
- メスシリンダー
- サンプルチューブ
- ペーパータオル
- アルミホイル
- マルチチャンネルピペット用 リザーバー
- 精製水
- 500 mL / 250 mL ボトル

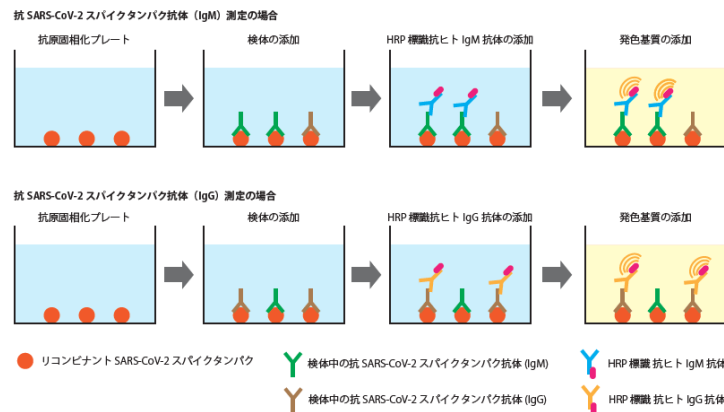


図 1 : 測定概略

取扱説明書

操作方法

1. 試薬の調製

(1) Diluent (1×)調製

Diluent 用バッファー(10×)50mLを精製水で10倍希釈し、Diluent (1×)とする。
※Diluent 用バッファー(10×)に析出が生じていた場合は、室温に戻して完全に溶解させてから希釈すること

(2) 抗体 / 試料希釈液 (1%(w/v)ウシ血清アルブミン溶液) の調製
ウシ血清アルブミンに Diluent(1×) 500 mLを加えて、混和させる。

(3) WR (Working Reagent : HRP 標識抗ヒト IgM 抗体 / HRP 標識抗ヒト IgG 抗体試薬) 調製
抗体 / 試料希釈液を用いて 1:100,000 に希釈し、WR : Working Reagent とする。

表 1. 希釈例

試験管 No.	希釈試料	試料量 (μL)	抗体 / 試料希釈液 (μL)	開始希釈倍率	希釈倍率
1	HRP 標識抗ヒト IgM / IgG 抗体	4	996	1	250
2	試験管 No.1	50	19950	250	100,000

(4) WB (Wash Buffer : 洗浄液) 調製

洗浄液 (10×) 100mLを精製水で10倍希釈し、WB : Wash Buffer とする。
※洗浄液 (10×) に析出が生じていた場合は、室温に戻して完全に溶解させてから希釈すること。

2. 測定試料の調製

測定試料は、調製した抗体 / 試料希釈液 を用いて 1:200~1:2,000 に希釈し、測定試料とする。

表 2. 測定試料希釈例 (1 : 1,000)

試験管 No.	希釈試料	試料量 (μL)	抗体 / 試料希釈液 (μL)	開始希釈倍率	希釈倍率
1	血清	4	1996	1	500
2	試験管 No.1	200	200	500	1,000

3. 測定

(1) SARS-CoV-2 S1 スパイクタンパク質固相化プレートをアルミパウチより取り出し、WB にて1回洗浄する。

※洗浄操作

- A) WB 200 μL をウェルに添加する。
- B) 30 秒ほど経過後にウェル中の WB を廃棄する。
- C) A)および B)を指定の回数繰り返す。
- D) ペーパータオルに叩きつけるようにし、しっかりと液を切る。

- (2) 調製した測定試料を洗浄した固相化プレートのウェルに 100 μL ずつ分注する。
- (3) 測定試料を分注した固相化プレートに、アルミホイルを被せ、室温で 1 時間反応させる。
- (4) (3)の反応時間終了後、反応液を廃棄し、WB にて 5 回洗浄する。(※洗浄操作 参照)
- (5) 洗浄した固相化プレートの各ウェルに、WR 100 μL を添加する。
- (6) WR を添加した固相化プレートにアルミホイルを被せ、室温で 1 時間反応させる。
- (7) (6)の反応時間終了後、反応液を廃棄し、(4)と同様に WB にて 5 回洗浄する。(※洗浄操作 (1) 参照)
- (8) 洗浄した固相化プレートに、R-1 100 μL を各ウェルに添加する。
- (9) R-1 を添加した固相化プレートをアルミホイルで遮光して室温で 10 分間反応させる。
- (10) (9)の反応時間終了後、R-2 100 μL を各ウェルに添加し、20 分以内に 450 nm の吸光度を測定する。

注意点

1.測定試料

- ・ 試料は新鮮なもの又は-20°C 以下で保存したものを使用して下さい。
- ・ 保存料は使用しないでください。

2.測定

- ・ 別ロットの試薬は使用しないでください。
- ・ 発色基質はできるだけ光を当てないでください。
- ・ 洗浄後の固相化プレートは、測定終了まで乾燥させないでください。
- ・ 固相化プレートは、底面に S1 スパイクタンパク質が固相化されています。ピペット等との接触により剥離すると、バラつきの要因になります。ピペット等がプレートの底面や壁面に触れないようにしてください。
- ・ プレートの温度のムラは測定値のばらつきの原因となります。
 - A) 試薬及びプレートは、必ず室温(20~25°C)に戻してから開封、使用して下さい。
 - B) 反応は必ず室温で行ってください。また、室内でも温度差や風当たりなどで、温度ムラの生じる箇所があります。エアコンの吹き出し口近辺などの温風や冷風の当たる場所、熱源近辺、窓際などの日光の当たる場所などでは使用しないでください。
 - C) 指などで長時間プレートに触れると、プレートが体温により加温されプレート内で温度差が生じます。プレートにはなるべく触れないようにしてください。
- ・ 試薬は順番通り、正確な時間で添加してください。また、反応時間は正確にとってください。
- ・ 反応停止液は強酸です。取り扱いには十分注意してください。
- ・ 測定の際はブランクを取ってください。

3.本キットを分割使用する際の注意

取扱説明書

- ・ 試薬類は当日中に使用しない場合、キャップをしっかりと閉め、冷蔵保存してください。
- ・ 固相化プレートの未使用ウェルストリップは、チャック袋に乾燥剤を同梱の上、冷蔵保管して下さい。
- ・ 開封後の HRP 標識抗ヒト IgM 抗体及び HRP 標識抗ヒト IgG 抗体、固相化プレートの未使用ウェルストリップは、冷蔵で一週間保管が可能です。

- 場合があります。あらかじめご了承下さい。
- ※ 品質に関してのお問い合わせの際は試薬キット包装袋に貼付の Lot No.をご確認の上、お問い合わせ下さい。
 - ※ 商品の仕様・サービス・包装形態・梱包形態・測定プロトコールは予告なく変更する場合があります。本取扱説明書に従い、適切にご使用下さい。
 - ※ 商品の輸送・取扱い・処理・廃棄については付属の安全データシート (SDS) に従って下さい。

製品仕様

測定数：96 測定
測定方法：間接 ELISA 法
測定波長：450 nm
測定試料：血清
交差性：Human
保管温度：2-8°C保管
品質保証期限：本品の有効期限は製造後 12 カ月です。
プレートへの固相化抗原：SARS-CoV-2 スパイクタンパク (S1 ドメイン, 大腸菌発現系)

参考文献

- 1.) 平松 啓一, 標準微生物学, 第 11 版, 医学書院 (2012)
- 2.) Anu Haveri , Serological and molecular findings during SARS-CoV-2 infection: the first case study in Finland, January to February 2020 , Eurosurveillance. Volume 25, Issue 11, 19, Mar 2020.
- 3.) Wanbing Liu, Evaluation of Nucleocapsid and Spike Protein-based ELISAs for detecting antibodies against SARS-CoV-2, J Clin Microbiol. 2020 Mar 30.
- 4.) Li Guo, Profiling Early Humoral Response to Diagnose Novel Coronavirus Disease (COVID-19), Clin Infect Dis. 2020 Mar 21.
- 5.) Juanjuan Zhao, Antibody responses to SARS-CoV-2 in patients of novel coronavirus disease 2019, Clin Infect Dis. 2020 Mar 21.

製造販売業者

セルスペクト株式会社
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-23
※クオリサーチは、セルスペクト株式会社の試薬キットの名称です。

問い合わせ先

セルスペクト株式会社
TEL : 019-134-6616
e-mail : support@cellspect.com
URL : <https://www.cellspect.com/>

- ※ 本製品は研究用キットです。診断、治療目的には使用できません。
- ※ 取扱説明書、測定プロトコール等、製品に関する最新の情報は下記弊社 web サイトのサポートコーナーでご確認下さい。
<https://www.cellspect.com/>
- ※ 本製品は研究用であり、その数値を完全に保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。
- ※ 表記性能は汎用されているマイクロプレートリーダーを用いた場合の目安です。使用機器の型式によっては完全に一致しない